

2025 年春季参加報告書

参加プログラム：SMEAG

参加時の学年：1 年 学部:国際教養 学科：国際教養学科グローバルスタディーズ専攻

私はセブ島の SMEAG という語学学校で 1 ヶ月間留学し、IELTS のスコア向上を目指して学びました。私の留学の目的は、将来的に長期留学するためのスコアを取得すること、そして海外の人々と交流できる仕事に就くための英語力を高めることでした。現在、私は国際教養学部で世界の文化や貧困問題について学んでおり、またアルバイト先のゴルフショップでは海外のお客様と接する機会もあるため、英語での円滑なコミュニケーションを取れるようになりたいという思いもありました。平日は、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの 4 技能をバランスよく学び、毎日朝から夕方までみっちり授業を受けました。先生方はとても熱心で、私の弱点を細かく指摘してくれたり、スピーキングの練習では実際の試験を想定したフィードバックをもらえたりしたことで、自分の課題を明確に把握することができました。特に、スピーキングとリスニングが苦手だった私は、毎日英語を話す環境に身を置くことで、徐々に英語に対する抵抗感が減っていきました。休日はリフレッシュのためにさまざまな場所を訪れました。海に見えるカフェでのんびり過ごしたり、大きなショッピングモールで買い物を楽しんだり、セブサファリで動物たちを間近で見たりと、勉強以外の時間も充実していました。また、他の国から来た留学生たちとの出会いも多く、英語を使って会話をする機会が自然と増えました。こうした経験を通じて、英語は単なる勉強のためのツールではなく、人とつながるための大切なスキルだと実感しました。印象に残ったことの一つは、フィリピンの人々の温かさです。先生やスタッフだけでなく、街で出会う人々もフレンドリーで、困っているときには優しく助けてくれました。また、フィリピンの英語教育の質の高さにも驚かされました。先生方は非常に流暢な英語を話し、私の発音や文法の間違いを的確に指摘してくれました。この留学を通して、私は英語への自信を少しずつ持てるようになりました。最初は話すことに対して臆病になっていましたが、毎日英語を使うことで「完璧でなくても伝えようとするのが大事」だと気づきました。また、異文化の中で生活することで、新しい価値観を学び、視野が広がったと感じています。今後の目標としては、さらに IELTS のスコアを向上させ、長期留学の夢を実現させることです。また、将来的には航空関係や旅行関係など、海外の人々と関わる仕事に就きたいと考えています。そのためにも、現在の大学での学びを深めるとともに、アルバイトでも積極的に英語を使って実践的なコミュニケーション力を磨いていきたいと思っています。

